



令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福 岡 県 】

学校名【 北九州市立菊陵中学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	・学校の実施：1・2・3年の全学年生徒 12クラス 生徒 255人 ※菊陵オリンピック(体育大会)を参観した保護者は150名程度
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (○)) ② 行事名 (○)) ③ その他 ()) (2) 地域における活動 ① イベント名 ()) ② その他 ())
4 目 標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピック開催国・年にあたり、各教科の取組やSDGs推進校の取組とのかかわりを持たせながら、多面的・多角的にオリンピック・パラリンピックの意義を学ばせ、自己の考えを再構築させ表現させる。
5 取組内容	<p>◆パラリンピックアスリートとの交流</p>  <p>元パラリンピックアスリートの二條実穂さんをお招きして、車いす体験と講演会を開催した。</p> <p>◆オリンピック・パラリンピックについての調べ学習</p> <p>パラリンピックアスリートとの交流を踏まえ、夏休みの学習課題として、本年夏に開催されるオリンピック・パラリンピックを調べ、プレゼン発表原稿を作成した。</p> <p>◆菊陵オリンピック(体育大会)での表現</p> <p>例年、地域で行われている運動会で使用している聖火をお借りし、開会行事で代表生徒による聖火走および聖火台点火を行い、オリンピック・パラリンピックのイメージを盛り上げた。</p> 

	<p>本校伝統の創作ダンスにおいて、本年度は3年生がオリンピックを意識し、五輪色のボンボンを持ちながら創作ダンスを披露した。さらに、五輪をイメージさせる隊形を創り上げた。</p> 									
<p>6 主な成果</p>	<p>◆生徒アンケートより(肯定的な回答をした割合)</p> <table border="1" data-bbox="499 416 1353 544"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施前</th> <th>実施後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オリンピックに興味がある</td> <td>61.7%</td> <td>70.7%</td> </tr> <tr> <td>パラリンピックに興味がある</td> <td>57.0%</td> <td>70.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>オリンピック・パラリンピックへの興味が、取組実施後に増えている。特に、パラリンピックへの興味が増えていることは取組の中での体験や講演会によるところが大きいと考えられる。</p> <p>◆生徒の感想から</p> <p>「テレビを見て、諦めずに頑張っている姿、スポーツのすばらしさや魅力を感じた。また、見たことのない競技が見ることができて勉強になった。」</p> <p>「パラリンピックのことについて調べてみて選手たちの工夫したプレーの仕方や考え方がすごかった。私も見習うところがたくさんあった。」</p>		実施前	実施後	オリンピックに興味がある	61.7%	70.7%	パラリンピックに興味がある	57.0%	70.7%
	実施前	実施後								
オリンピックに興味がある	61.7%	70.7%								
パラリンピックに興味がある	57.0%	70.7%								
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>オリパラ教育を核にししながら、様々な教育活動を結び付け、生徒たちにオリパラ教育の補充・深化・統合を図った。本校では、オリパラ教育の重点を「スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び」「スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築」としたことで、保健体育授業や道徳授業との結びつきを図った。また、本校がSDGs推進校としてオリンピック・パラリンピックの取組を位置づけた。</p>									
<p>8 主な課題等</p>	<p>「スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び」については、当初の目標に近づくことができた。しかし、「スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築」については、共生社会の大切さ等の学びにとどまり、その構築のために生徒自身が自分事として考え実践しようとするまでにはいかなかった。今後、より焦点を絞った取組を進めていく。</p>									
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>本校がSDGs推進校として今後担っていく中で、今回のオリパラ教育の取組を振り返らせながら進めていく。今回のオリパラ教育の取組では、あまり触れることができなかった「マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成」「スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築」「日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成」は、SDGsとも深いつながりがあるので、来年以降のSDGsの取組の中で前述の3つを重点化させながら進めていく。その際に、今回のオリパラ教育の取組をしっかりと振替させるようにする。</p>									